

ネットワークソフトウェア開発に関する3大学合同PBL

| 実施期間 | 実施国 | 共同実施機関 | 対象 | 参加者 | 本学担当教員 |
|-----------------------------|------|-------------------|---|--|--|
| 2026年02月22日 ～2026年03月05日 | ベトナム | ダナン工科大学 明志科技大学 | ・情報工学科、電子情報システム学科、基幹機械コース、先進機械コース ・学部2年生、学部3年生 | (芝浦工業大学) 学生22名、学生バイト2名、 教員2名 (ダナン工科大学) 学生4名、教員2名 (明志科技大学) 学生31名、教員1名 | 福田 浩章(情報・通信工学 課程情報工学コース)、三好 匠(情報課程ソフトウェアコース) |



図1 ダナン工科大学

情報通信工学課程・情報工学コースと電子情報システム学科共催のネットワークソフトウェアに関するグローバルPBLを実施した。ベトナムの旧正月「テト」の季節と重なった関係で、今年度より開催校をベトナム・ダナン工科大学に変更した。ダナン工科大学のほか台湾・明志科技大学も参加し、3か国3大学の国際PBLとなった。本学から22名(情報通信工学課程・情報工学コース15名、電子情報システム学科7名)、ダナン工科大学から31名、明志科技大学から4名が参加し、1チーム5～6名で11チームの活動となった。

学生たちは、インターネットで接続された複数のコンピューティングデバイスとセンサ類を使って動作する情報通信システムの開発を行った。まず、1/29にオンラインセッションを開催し、アイスブレーキングの後にチームごとに開発するシステムについての議論を行った。2/23からはベトナム・ダナンに集まり、フェイス・トゥ・フェイスでのシステム開発を実施した。

本学学生は2年生が中心であり、活動開始直後は技術的な知識不足のため活動に不安を感じる学生が多かったが、現地でのシステム開発を通じて積極的なチーム活動が展開され、最終的には新しい発想とクラウド技術を応用した素晴らしいシステムのプロトタイプ実装が達成された。



図2 集合写真



図3 チーム作業



図4 チーム発表



図5 福田先生による講評



図6 ホイアン文化交流ツアー(SIT & MCUT)